

製品名: GRIN2D ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11767**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	145kDa

抗原情報

遺伝子名	GRIN2D GluN2D NMDAR2D
別名	Glutamate [NMDA] receptor subunit epsilon-4 (EB11) (N-methyl D-aspartate receptor subtype 2D) (NMDAR2D) (NR2D)
遺伝子 ID	2906.0
SwissProt ID	O15399
免疫原	ヒト GRIN2D ポリクローナル由来の合成ペプチド

背景

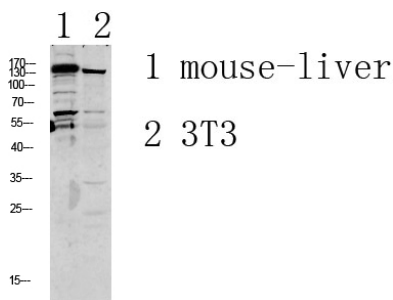
N-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体は、イオンチャネル型グルタミン酸受容体の一種です。NMDA チャネルは、特定の種

類の記憶や学習の基盤となると考えられているシナプス伝達効率の活動依存的な上昇である長期増強に関与することが示されています。NMDA 受容体チャネルは、主要な受容体サブユニットである NMDAR1 (GRIN1) と、4つの NMDAR2 サブユニット (NMDAR2A (GRIN2A)、NMDAR2B (GRIN2B)、NMDAR2C (GRIN2C)、および NMDAR2D (GRIN2D)) のうち1つ以上からなるヘテロ多量体です。[RefSeq 提供、2010年3月]、機能: 高いカルシウム透過性とマグネシウムに対する電圧依存的な感受性を有するグルタミン酸依存性イオンチャネルの NMDA 受容体サブタイプ。グリシンを介する。類似性: グルタミン酸依存性イオンチャネル (TC 1.A.10) ファミリーに属する。サブユニット: INADL および DLG4 の PDZ ドメインと相互作用する (類似性による)。ゼータサブユニット (GRIN1)、イプシロンサブユニット (GRIN2A、GRIN2B、GRIN2C、または GRIN2D)、および第3サブユニット (GRIN3A または GRIN3B) からなるヘテロ多量体チャネルを形成する。、

研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;長期増強;アルツハイマー病;筋萎縮性側索硬化症 (ALS);

画像データ



各種溶解液のウェスタンブロット分析。抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。